

北杜

2026
Vol. 87

議会だより

経済環境常任委員会



議会運営委員会

第2回定例会
(6月)



議案と審議 ②
市長所信表明 ⑤
声のひろば ⑰

委員会レポート ④
会派代表・一般質問 ⑥
北杜市ウォッチング ⑱

ブランドを確立 イメージのアップへ～

一般会計補正予算 **6億3,844万円増額**

予算総額は355億1,293万円に

第2回定例会は、6月9日から6月25日までの17日間の会期で開催し、市長提出の令和8年度補正予算をはじめ、条例、報告など計17件を審議し、可決、承認、同意しました。
また、請願2件のうち、1件を採択、1件を趣旨採択とし、発議2件を可決しました。

一般会計 補正予算(第2号) ※全員賛成で可決

おもな使いみち

※金額は万円未満を四捨五入しています

小淵沢エリア振興ビジョン推進事業

1億9,102万円

県策定の「小淵沢エリア振興ビジョン」に基づき、地域特性を生かした小淵沢ブランドの確立と高付加価値化を図るため、地域未来交付金を活用して、官民が連携した一体的な事業を実施する。冊子など作成による情報発信、拠点となるスパティオ小淵沢の整備に伴う実施設計、道路や電柱の地中化の詳細設計など。

防災行政無線設備更新事業

1億7,297万円

市民への情報伝達体制の継続性の維持や強化を図るため、防災行政無線設備を更新する。

涼み処開放事業助成金

400万円

市民の熱中症被害を防止するため、冷房設備が設置された公民館分館を涼み処として一般に開放した場合に助成金を交付する。

助成額 5日以上10日未満 1万円
10日以上 日数により算定(上限18万円)

産業立地事業費補助金

4,151万円

市内に製造業などの事業所を新たに操業し、常時雇用労働者を10人以上増加させる事業者に対し、助成金を交付する。

おもな補正財源

国庫支出金	1億1,480万円	繰入金	7,550万円	市債	4億 660万円
地方交付税	3,450万円				

補正予算

■一般会計(第2号)

問 小淵沢エリア振興ビジョン推進事業は市民生活の向上にどのようなつながると考えるのか。

答 住む人、訪れる人、働く人すべてに満足してもらえる地域をめざして進めている。

賛成討論 飛矢崎雅也

小淵沢エリア振興ビジョンと公共ライドシェア事業は公共性と優先順位に懸念があるが他事業の必要性を踏まえ賛成。

■介護保険特別会計(第1号) ※全員賛成で可決

条例

■税条例の一部改正

■介護保険条例の一部改正 ※全員賛成で可決

契約

■工事請負契約の締結(白州サンドグラウンド整備工事)

■工事請負変更契約の締結(小淵沢小学校長寿命化改修工事(建築・機械設備))

■工事請負変更契約の締結(増富の湯浴室棟新築工事・食堂棟改修工

新たな北杜ブラ

～来訪者・雇用数・地域

事

※全員賛成で可決

報告

▼一般会計継続費繰越計算書

▼一般会計繰越明許費繰越計算書

▼水道事業会計予算繰越計算書

▼下水道事業会計予算繰越計算書

▼専決処分
(損害賠償の額の決定)

承認

■条例の一部を改正する条例の専決処分の報告及び承認

※全員賛成で承認

■国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告及び承認

反対討論 清水 進

国保制度を将来にわたり安定的な制度としていくために、保険者だけに負担をさせるのではなく、公的負担を増やすべき。

賛成討論 山崎 君江

改正で低所得世帯への配慮と負担軽減が図られ、限度額引き上げは制度の安定的な運営のための適切な措置である。

※賛成16、反対2で承認

その他

■市道路線の認定及び廃止
※全員賛成で可決

同意

■農業委員会委員の任命
■大平山恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任
※全員賛成で同意

請願

■重度心身障がい者医療費助成制度の窓口無料化を求める請願

●請願者

山梨県身体障害者連合福祉会、山梨県北杜市身体障害者福祉会

●紹介議員

高見澤伸光 秋山 俊和 加藤 紀雄 志村 清 中山 喜夫 進藤 正文

【趣旨】

重度心身障がい者は、日常的に継続して医療を必要とし、医療費の償還払いによる経済的な負担が重くのしかかっており、受診控えによる症状の悪化も懸念される。

障がい者が地域で自立するために必要な医療を

安心して受けられるようにするには、窓口無料化の拡充が肝要である。
※全員賛成で採択

■イランをめぐる武力行使の即時停止と対話による平和的解決を求める意見書の提出を求める請願

●請願者 松元 宏 野々村誠司 清水 進

●紹介議員

【趣旨】イランをめぐる戦争は長期化し、緊迫。武力解決は容認できず、外交努力・対話での解決が求められる。日本政府は「国際法に反する行為」と明言せず、米国追従の姿勢をとる。軍事的衝突の即時停止と平和的解決にむけた努力を強く求める。

賛成討論 志村 清

情勢は予断を許さず、今こそ世界中で停戦・終戦の声をあげる時である。意見書提出の意義は大きい。

※趣旨採択

発議

■世界の平和並びにイラン・イスラム共和国と周辺地域における武力衝突の再発抑止と平和的な解決への推進を求める意見書の提出について

●提出者 総務常任委員長 進藤 正文

【趣旨】

武力衝突により、多くの人命が奪われ、経済、文化、財産、生活が破壊され、世界情勢も混沌としている現状を鑑み、日本政府が世界に対し、平和の尊さを示すための最善の行動を行うことを強く求める。

※全員賛成で可決

■重度心身障がい者医療費助成制度の窓口無料化を求める意見書の提出について

●提出者 文教厚生常任委員長 神田 正文

※全員賛成で可決



賛否のあった議案等(議長を除く)															結 果					
案 件	浅川 勝正	大塚 愛	奥石 知宏	飛矢崎雅也	中村 典子	山崎 君江	高見澤伸光	奥水 崇	中山 喜夫	神田 正人	秋山 真一	進藤 正文	志村 清	齊藤 功文		加藤 紀雄	清水 進	保坂多枝子	内田 俊彦	秋山 俊和
国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決 処分の報告及び承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	×	○	○	×	○	○	○	承認

委員会レポート

おもな質疑・討論の内容は次のとおり

総務 常任委員会

○委員長 勝正
○副委員長 正和
◎進藤 正文 ○浅川 勝正
高見澤伸光 大芝 正和
秋山 真一 志村 清
保坂多枝子

付託された事件2件と
請願1件を審査し、事件
は可決すべきものと決定
した。請願については、
「内容を受け止めた上で、
趣旨採択が妥当」との意
見があり、趣旨採択とす
べきと決定した。

税条例の一部改正（専 決処分）の報告及び承認 案件）

問 優良住宅の造成など
のために土地などを譲渡
した場合の長期譲渡所得
に係る市民税の課税の特
例適用期限が延長されて
いる。資料の記述による



ペロブスカイト太陽電池

と適用外の年度が生じて
いるが、その期間に対す
る措置はあるか。
答 改正漏れで、表記上
の期間に適用外の年度が
生じているが、法律優先
となるため、その年度も
適正に運用されている。
問 ペロブスカイト太陽
電池が対象設備となつて
いるが、国は特例を設け
て推進しているという
考えで改正しているのか。
答 改正により特筆され
ていることから、推進し

ていくものと考えている。
■税条例の一部改正
問 市民税の寄附金税額
控除における特例控除額
の特例について、復興特
別所得税の課税期間延長
と防衛特別所得税の創設
に伴う改正に当たり、市
民への影響は。
答 控除額の計算方法は
変わるが、今回の改正に
より控除額が減少するこ
うことはない。
■イランをめぐる武力行
使の即時停止と対話に
よる平和的解決を求め
る意見書の提出を求め
る請願
問 戦闘を終結して、合
意書、覚書が締結される
との報道もあるが、本請

願は、イランをめぐる武
力行使の即時停止と対話
による平和的解決を求め
ると特定している。紹介
議員の基本的な考えは。
答 世界的に戦争の終結
を早期に求める流れが強
まっており、歓迎してい
るところである。
問 国際法を無視した行
為との記述があるが、違
反したという事実の根拠
は。日本政府の他、アメ
リカなど各政府に請願を
届ける手法は。
答 各国の対応から違反
している行為と判断でき
る。大使館を通じて届け
てほしい。

文教厚生 常任委員会

◎委員長 愛江 進
○副委員長 山崎 清水
◎神田 正人 ○大塚 典子
中村 功文 山崎 清水
齊藤 俊彦 内田 俊彦

付託された事件2件と
請願1件を審査し、可決
および承認すべきものと
決定した。請願は採択す
べきものと決定した。

国民健康保険税条例の 一部改正（専決処分の 報告及び承認案件）

問 軽減判定所得基準額
を引き上げることにより、
恩恵を受ける世帯は今ま
でと比較して何世帯増え
るのか。
答 条例施行前後では5
割軽減世帯が12世帯、2
割軽減世帯が16世帯の増
となる。

賛成討論 山崎君江

「低所得世帯への配慮
と負担軽減」「制度の安
定的な運営」「専決処分
の妥当性」の理由から承
認すべきものと考えてる。
問 令和7年度の税制改
正で給与所得控除の最低
保障額が上がったことに
より、税務上は市町村民
税非課税でも、介護保険
料の算定において課税と

介護保険条例の一部改正 問 みなし課税納税者と は。

付託された事件1件を
審査し、可決すべきもの
と決定した。

経済環境 常任委員会

◎委員長 知宏
○副委員長 崇 俊和
◎中山 喜夫 ○興石 飛矢崎雅也
加藤 紀雄 興水 秋山

市道路線の認定及び廃止



窓口無料化に向けて

判定されてしまう人が生
じる。保険料の増額の特
例減免措置により救済す
るもの。
■重度心身障がい者医療
費助成制度の窓口無料
化を求める請願

クマによる人身被害の防止や自然災害への対応力を高めるとともに、移住・定住先として選ばれる魅力あるまちづくりを進めていきます



大柴市長の
所信表明

「ツキノワグマ対策」

今年もクマの目撃情報が寄せられており、市民生活への影響が懸念されています。市では、昨年度「ツキノワグマ出没マニユアル」を整備したほか、万一の事態に備え「緊急銃猟対応マニユアル」を作成しました。今後は、関係機関と連携した訓練を実施し、人身被害の防止に努めます。

「総合防災訓練の実施」

自然災害への対応力を高めるため、8年ぶりに「総合防災訓練」を実施しました。訓練では、市民の皆さまと自衛隊、消防、警察などが連携し、実践的な訓練を行いました。災害はいつ発生するか予測がつかないため、いま一度「自らの命は自ら守る」という意識のもと、防災・減災への備えをお願いします。

市政の状況

1 物価高騰対策

国の交付金を活用し、米どころ北杜の農業を支援する独自の給付金制度を設けました。また、医療、介護・福祉サービスを持続するための給付金を創設するとともに、18歳未満の子どもがいる保護者に向けた「こども応援サポート給付金」の受付を開始しました。

2 コンビニ交付サービス

コンビニで発行する証明書の手数料を、時限的に一律10円に引き下げました。市役所に足を運ぶことなく、土日祝日や時間に縛られず利用でき、大きな利便性があるためぜひご活用いただきたいと考えています。

3 子育て支援策



「総合防災訓練」救出・救助訓練の様子

子どもの年齢・出生順位にかかわらず、すべての子どもの保育料を無料化しました。また、新たに小学校入学時に「子育て応援入学祝金」として10万円を支給する制度を創設しました。さらに、生後6カ月から3歳未満までの未就園児を対象とした「子ども誰でも通園制度」を本年4月から須玉保育園で開始しました。今後も、多様なニーズを的確に把握し、子育て世代から選ばれる自治体を目指し、積極的な子育て支援策を進めます。

4 観光振興

ゴールデンウィークには、「長沢鯉のぼり祭り」や「ほくと菜の花ウィーク」など、市内のイベントが大変な賑わいを見せました。また、中部横断自動車道の開通によるアクセス向上や、静岡県への誘客キャンペーンにより、静岡県からの観光客が顕著でありました。こうした市内の観光スポットの「点」と「点」がつながり、「面」として広がることで観光振興と地域経済の発展に、大きな相乗効果を生み出すものと期待し、今後も「点から面」への周遊観光を推進していきます。

5 市デザインブランド顧問

市のふるさと親善大使・中野シロウ様を「北杜市デザイン・ブランド顧問」に委嘱しました。伝える力を磨き、市の認知度向上とブランドイメージの強化を図り、内外への市の魅力を分かりやすく発信していきます。

6 企業との連携

市と「株はくばく」「(株)セブーンイレブン・ジャパン」の3者協働によるプロジェクトでは、市内の小学生を対象に食育教室を実施し、その学びを活かした「おにぎり」を商品化する取組を行います。また、夏休み期間中には、「おにぎりレシピコンテスト」を開催し、優秀なレシピを商品化します。この事業により、子どもが考案した商品を通じて家族全体の食生活改善に寄与することを期待しています。



小学校で食育教室を実施しました

代表質問

Question

産学官の連携協定は

Answer

戦略的方向性と
継続性が重要



みらい創生

かとう
加藤

のりお
紀雄



少子高齢化社会の進展、頻発する大規模自然災害、AI技術の進展、DXやGXへの対応など、変化の速い時代の中で、行政需要も複雑かつ多様化している。これらの課題に対応し、住民サービスの向上を図っていくためには、行政の努力だけでは限界がある。

問 今までに取り組んできた産学官連携協定の内容と成果は。

答 山梨大学や東京藝術大学との協定により、市内で定期的にコンサートを開催するなど、芸術文化交流を行っている。また、サントリービレッジ

&フード(株)と、小学生を対象とした「水育出張授業」や中学生への「環境教育セミナー」を開催し、次世代の人材育成と地域への愛着醸成に努めている。エルサステック(株)との協定で、甲陵高校において宇宙や人工衛星に関する講演を実施した。小中学校での理科授業も予定している。

協定の実効性を高めるため、定期的な見直しと連携状況の確認を強化し、継続性を確保する体制づくりに注力する。

問 今後の基本方針は。

答 国の地域活性化起業人制度を活用し、庁内DX化や農業のICT化に努めてきた。今後も市の長期的な発展につながる連携を戦略的に推進する。

問 産学官連携による民間の知見やノウハウの活用は。

答 個々の取り組みが一過性で終わることなく、長期的な価値創出へつなげるためには、得られた知見を全体の共有財産として積み上げていく必要がある。成功事例を抽出しての勉強会の開催を検討。

問 最近の成果は。

答 (株)はくばくとの協働による「おこめプラス・健康プロジェクト」は、本年3月、(株)セブナイイレブン・ジャパンの賛同をいただき、3者協働体制へと発展。夏休みには、小中学生を対象に

「おにぎりレシピコンテスト」を開催し、商品化する予定。(株)ちとせ研究所とは、廃棄物を資源として堆肥やバイオ製品を生産する実証実験を予定している。



産・学・官の連携で北杜市の未来を

問 中学校2校新設は

答 教育環境をスムーズに実現

問 中学校再編整備検討委員会で見解集約された内容と検討経過は。

答 生徒の教育環境、学校の教育指導に重点を置き、「水平統合による学年3から4学級、全校9から12学級が実現できる学校規模」を目指し、「新設校2校」を基本に、学区は原案4案から、2案に集約された。設置場所は面積約4万5,000㎡と想定し、さまざまな選択肢を検討した結果、公共用地を活用し、新設2校とすることが子どもたちの教育環境をスムーズに負担なく整備できると判

断した。

問 今後のスケジュールは。

答 通学の調査業務を発注する予定。基本設計は議会の議論を踏まえ準備を進める。6つの専門部会を随時開催する予定。

問 教育の質向上を図るための方針および検討体制は。

答 ICTを活用した教室、少人数学習に対応できる環境整備、高断熱化に取り組む。学校運営は、教育課程等検討部会や保護者地域部会などを中心に検討していく。

問 小淵沢エリア振興ビジョンは

答 地域未来交付金などを活用

令和7年9月議会で、市長は、ビジョンの目的は、小淵沢エリアの高品質化、高付加価値化を図ることであり、成果を市内や県全域に波及させるよう取り組むと答弁した。

問 事業内容とスケジュールは。

答 ソフト事業として、イメージ冊子作成、雑誌・WEB広告、インバウンド向け情報発信、滞在型体験コンテンツ造成など、拠点整備事業として、スパティオ小淵沢、道の駅小淵沢の改修などを3年間で、インフラ整備事業として、市道整備や電線地中化を5年間で実施する予定。

一般質問



保坂多枝子



問 有機系資源の活用推進は

答 環境負荷の低減や資源循環としても重要

石油依存の生活を変えることは容易ではないが、移行することで自然・生態系・人体や生命など多岐にわたる利点がある。環境保全・自然回帰の観点からも、こうした時だからこそ、持続可能な社会実現のため、早急に取り組む必要がある。

問 包装容器など石油由来から有機由来への原料活用への考えは。

答 有機由来の容器・包装を使用する取り組みや、支援も検討する。

問 リサイクル資源回収状況と、今後の取り組みは。

答 資源物を14種類に分類し、分別の徹底を推進している。リサイクル率は16・1%、分別ルールを周知徹底。

問 先進的な取り組みに対する支援の考えは。

答 先進的な取り組みを推進するため、提案事業の募集について広く周知し、環境保全活動や環境教育を支援していきたい。

問 リユース食器の利用促進は、拡大を図る。

問 北の杜聖苑進入路交差点に街灯の設置は

答 設置困難な状況

問 主要地方道「北杜八ヶ岳公園線」と市道「下黒沢線」が交差する「北の杜聖苑」の進入路には、街灯が設置されておらず、須玉町若神子方面からも、高根町下黒沢方面から来ても非常に分かりにくい状況にある。特に北の杜聖苑は市外からの利用もあって、街灯の設置が望まれる。

答 市道への道路照明の設置は、「道路照明施設設置基準」に従い施工しており、交通事故の防止を図るため必要がある場合には設けるものとする、と規定されている。

当該箇所は、交通量や夜間の事故率などを鑑みると、設置は難しい状況であり、引き続き状況を注視していきたい。

一般質問



神田 正人



問 市のサイバー攻撃対策は

答 多層的なバックアップ体制の構築

問 バックアップデータの管理、ネットワーク分離、復旧までの想定時間など、ランサムウェアを想定した対策は整備されているか。

答 庁内にバックアップサーバー整備、定期的なデータ更新や、ガバメントクラウド利用で、多層的なバックアップ体制を構築。

問 専門人材の配置、セキュリティ会社との契約、県や警察との技術連携は。

答 専門的スキルの習得や継続的な研修を実施。「自治体情報セキュリティクラウド」利用や、警察主催の情報共有会議に定期的に参加。

問 情報漏洩発生時の対応は。

答 情報伝達フローに基づき、国や県へ報告し、市民への個別通知も、対応する。

問 セキュリティ啓発、見解は。

答 市民への情報発信を積極的

に行い、安全・安心に取り組む。

問 身寄りのない方への支援は

答 包括的支援体制を構築

問 高齢化の現状や課題は。

答 地域全体で支える包括的な支援体制の構築が必要。

問 どのような福祉政策か。

答 職員が訪問し状況を把握。医療機関への受診勧奨や福祉の利用支援などを行っている。

問 孤独死の防止対策は。

答 見守り事業などで、環境づくりに取り組む。

問 学校の安全管理は

答 実践的訓練を実施

問 実効性ある見直し、訓練は。

答 必要に応じ訓練内容見直し。

問 現実的なリスク想定訓練は。

答 実践的な訓練に取り組む。

問 定期点検、補修の優先順位は。

答 定期点検を毎年実施、適切な維持管理に努めている。



子供たちを守る安全管理

代表質問

Question

難病者雇用枠の創設は

Answer

県や他市の情報収集に
努めている



ポラリス北杜

こし いし とも ひろ
興石 知宏



問 山梨県では難病患者を対象とした雇用枠を設けている。県からは多くの情報提供がされているが、現時点で本市が難病患者雇用枠を創設する上で、まだ不足している情報や解決すべき具体的課題は。

答 個別の具体的な症状やニーズを的確に把握するためのきめ細やかなヒアリング体制が十分とは言えない。難病患者への具体的な配慮を提供するための情報や運用など、ノウハウの蓄積が今後の課題。

問 厚生労働省は障害者雇用促進法を見直し、難病患者の雇用を企業

や自治体に義務付けることを検討している。義務化されてから制度を作るより、今から制度設計・庁内の理解・職場環境の整備を進めておくほうが行政運営的には合理的ではないか。

答 国の動きは、多様な人材が活躍できる社会の実現に向けた重要な一歩であるとして認識している。難病患者雇用枠の創設は、国の動向を注視し、導入自治体の取り組み状況について調査・研究を行う。



難病患者の社会参加の
現状をまとめた報告書

問 人は財（たから）であるとして位置づける人財育成は

答 先進事例含め調査・研究する

問 前例踏襲ではなく、市職員の「公共経営」の力をつけるための人材育成の方針や環境は十分か。

答 一定の基礎は培われているもののさらなる底上げを図っていくことも必要。職員の資質向上と市民サービスの向上に努めていく。

問 市職員が「ここで成長したい」

「ここで働いてよかった」と思える職場を作るためには現状把握が必要。「働きがい実感率」のアンケート調査を実施し、職場改善に生かす考えは。

答 「エンゲージメント・働き方アンケート」を実施し、現状把握だけではなく、詳細に分析し、業務改革や具体的な職場改善へ繋げていく。

問 部活動地域展開の現状は

答 実証事業など実施

問 コーディネーターの配置、地域移行協議会の開催、実証実験や体験者アンケートが実施されてきた。成果を踏まえた今後の方針は。

答 体験会で得られたデータ、協議会や専門部会の意見を参考に、地域クラブ認定の北杜市モデルを構築し、本年度中の認定を目指す。

問 教職員が地域クラブ活動に従事する際の、兼職兼業の許可規定の整備は。

答 教職員に意向調査を実施し、その結果を踏まえて必要な関係規則の制定、許可手続きの準備を進める。円滑な部活動の地域展開が図られるようスピード感をもって取り組む。

問 音楽室などの校内施設の地域クラブ活動での使用想定および学校内のセキュリティ担保は。

答 専門部会などで校舎内施設の検討をする中、地域クラブの活動場所も検討し、基本設計業務委託の仕様書に反映させる予定。

問 インターハイ開催を活かした地域振興は

答 関係人口の拡大、移住候補地となるような周知に努める

問 令和9年7月22日から南関東高校総体2027が開催され、本市では八ヶ岳で登山競技が実施される。多くの高校生や関係者が集い、北杜市をPRする良い機会となるが、庁舎内横断的な体制や、有識者や登山関係者との協力体制は。

答 大会運営を担うため、県立高校から専門教諭1人が週3回派遣されている。庁舎内は、政策秘書部、産業観光部などの連携を図っていく。市が事務局となり、市内高等学校、スポーツ団体および登山関係者の実行委員会を組織し準備運営を行う。自衛隊との協力体制の構築も行う。

問 「北杜市は登山の聖地」を印象づける絶好の機会。大会前後の情報発信戦略は。

答 ポスター・チラシによる周知、メディアへのプレスリリース、SNS発信、グッズの開発・販売などイメージ戦略に努める。

問 観光資源の安全利用のための情報提供体制は

答 注意喚起を強化する

問 トレッキング・ハイキングコースや遊歩道などの市内観光資源はいくつあるか。

答 南アルプスエリア5カ所、八ヶ岳エリア5カ所、奥秩父エリア2カ所、計12カ所。

問 緊急通報が困難な、携帯電話が圏外となる場所の把握は。

答 現在は一部の把握にとどまっているため、現地踏査の際に、併せて電波状況を確認したい。

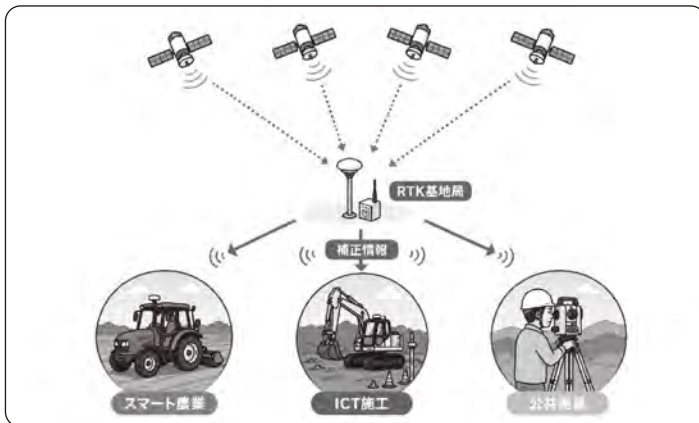
問 事故や急病時の連絡方法は。

答 提出が推奨されている登山計画書の提出、また民間の衛星インターネットサービスである「スターリンク」を使ってスマートフォンからメッセージを送信する。

問 緊急通報困難箇所の注意喚起は。
答 トレッキングコースなどの入口の看板への明記、ホームページによる事前周知を検討する。

問 スマート農業推進に必要なRTK基地局の整備は

答 財源確保でき次第、公共インフラとして整備進める



多くの分野に利用可能なRTK基地局

問 スマート農業技術の導入をどの程度把握しているか。

答 水田用自律走行型除草ロボット12台、自動操舵システム21台、全自動田植え機2台、遠隔操作型除草機8台など、約30経営体で稼働。

問 スマート農業以外にも、ICT施工、公共測量、災害復旧などの多くの分野に利用可能なRTK基地局は面的な整備が合理的ではないか。

答 多岐にわたる利活用が可能であり、整備は重要であると認識。国の補助制度を活用するなど、財源が確保でき次第、整備を進める。

一般質問



おあ つか あい
大塚 愛



問 外国人住民との共生は

答 外国人住民も安心して暮らせるよう環境整備に取り組む

問 地域日本語教室通年開催

答 通年開催を検討。「居場所」機能を強化する。

問 外国人住民対象防災訓練

答 初の試みとして、市総合防災訓練に参加してほしい。

問 やさしい日本語の拡大は。

答 各部署連携し周知を図る。

問 ラーケーションの教育的意義は

答 「原っぱ教育」と通じる
問 休日保育の未満児への拡大、ファミサポ補助の検討は可能か。

答 拡大は困難。ファミサポ長時間利用の負担は認識している。

問 ラーケーション導入検討は。

答 校長会、研究会などの機会に導入の可能性を検討いただくよう学校現場に働きかける。

一般質問



たか み ぞわ のぶ みつ
高見澤 伸光



問 交通弱者の緩和は

答 安全で快適に過ごせる環境整備に努める

問 バス停での暑さ対策は。

答 今年度は新たに、涼み処として一般開放された公民館分館をご活用いただく。

問 甲陽病院のバス停に屋根がないが、雨や日差し対策は。

答 バス停は屋根付きの待合所から少し離れた場所にあるため、椅子やバス待合所の案内表示を移動して対応。なお、運転手から声掛けを行い、乗車漏れの防止に努める。

問 物価高騰による修学旅行費の影響は

答 バス代や宿泊費、飲食費などが影響している

問 修学旅行費に対する支援は。

答 昨今の物価高の状況もあることから、市としてどのような支援が可能か調査・研究をする。

代表質問

Question

北杜市の将来ビジョンは

Answer

地域特性生かし
施策展開

北杜クラブ

あき やま しん いち
秋山 真一

市内人口が半数となる予測もある中、北杜市が生き残るため、可視化された市政方針の提示が重要。

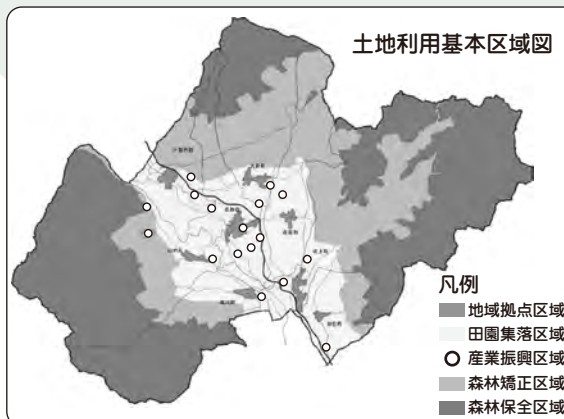
問 地図上で分かりやすいビジョンを示す考えは。

答 目指すべき将来都市像と土地利用の方針を定めた「北杜市まちづくり計画」に基本区域を示している。

問 12年前に中部横断自動車道の計画に合わせ作られた「北杜市まちづくりビジョン」の再編は。

答 2カ所のインターチェンジのアクセス道路や、本庁舎や統合中学校の位置が決定した際に、改定する予定。

土地利用基本区域図



まちづくり計画の土地利用基本区域図

問 公共施設個別計画は将来像が不明確。今後の再編方針は。

答 旧町村8地区の拠点施設を集約化・多機能化して公共サービスの維持・向上を目指しているが、地形的には、八ヶ岳南麓高原、甲斐駒ヶ岳、茅ヶ岳・瑞牆山の3エリアに分かれている。今後の検討には、生活圈と地形的要因の両面を考慮して進める。

問 市内一律に施策展開するのではなく、地域ごとの方向性と役割を定めては。

答 地域特性を生かした効果的な施策を展開することが重要。薄く広くではなく、ニーズの多様化に対応し、選択可能で良質なサービスを提供できるよう検討する。

問 クマ対策は

答 緊急統獵マニュアルを策定

問 クマの生息地、行動範囲など注意すべきエリアを地図上で分かりやすく表記することは。

答 目撃情報などは、市ホームページの座標をクリックすることで、直ちに地図が表示される。

問 クマよけのための超音波発生機器の設置は。学校や通学路の対策は。

答 野生動物のため、行動経路の特定は困難。児童に鈴を携行させるなどの措置を講じている。

問 年間を通じた猟友会など関連団体との連携、協力は。

答 野性鳥獣害防除員を2名配置。出没情報があった場合、速やかに現地確認し、必要に応じて猟友会など連携し、箱罠を設置している。協力体制を継続していく。

問 統合中学校、行政案は最適地なのか

答 課題、検討する

2つに学校区が定められたことは大きな前進だが、設置場所（行政案）の検討経過は非公開であり、ブラックボックスの状況。人口減少、市の発展

一般質問

あき やま とし かず
秋山 俊和

問 甲武信ユネスコエコパークについて

答 整備状況見極め検討

問 千本桜公園名所復活プロジェクトを、市のユネスコエコパーク事業整備でできないか。

答 エリア内随一の桜の名所、令和10年まで800mを改良。

問 林道の整備は。

答 県と協議し進める。

問 公園内の見晴らし台整備は。

答 関係機関との協議必要、整備状況見極め検討する。

問 明野小笠原地区沓川下流沿線の農道環境改善は事業化に向け検討する

問 当地区の道路拡幅整備は。

答 事業化に向け前向きに検討。

問 拡幅整備後の維持管理は。

答 関係者と連携を図り、安定的・持続可能な農道整備と維持管理が行えるよう支援していく。

計画、子どもの安全など、すぐに建てることを目標とせず、数十年後を見据え、どこに建てるべきかを熟慮すべき。県畜産酪農技術センター長坂支所（旧酪農試験場）が最適地と考える。



皆さんが考える最適地はどこ？

問 技術センターは、長坂駅から徒歩約5分で電通学が可能。旧峡北高校は、日野春駅から徒歩で20分以上で難しい。長坂駅利用者が増えればエレベーター設置の足掛かりになる。長坂駅は市内循環バスの起点であり、通学の利用も可能。登下校の選択肢も増える。北杜警察署が隣接し、徒歩通学の安全も確保される。教育関連施設が隣接し連携授業も可能。人口の多い駅周辺の避難所にもなる。公共住宅も多く移住促進もできる。旧峡北高校では代用とはならないが、比較しつつ答弁を。

問 技術センターは県の施設であり市が活用することは困難。通学距離、市民の利便性、バス運営の持続性、生徒の安全確保、教育環境の連携、避難所確保、移住促進など今後検討する。

答 市営住宅の入居率は87.5%

問 市営住宅の現状は。
答 5月末時点で、48団地。管理戸数は1,119戸、そのうち入居戸数は979戸。入居率は87.5%。

問 今後の市営住宅整備計画は。
答 既存住宅を修繕・改修し、住環境の向上と長寿命化を図る。

問 子育て支援住宅の整備計画は。
答 市営中之島団地の空き家10戸を子育て向けに改修する予定。

問 市営住宅解体後の跡地利用は。
答 住宅用地として活用策を検討。

問 移住者向けお試し住宅の活用状況と新たな整備は。

答 令和7年度は41組84人が合計で242日利用された。20泊まで利用可能な1室を、7月から供用開始する。今後の増設は検討。

問 文教公共施設に近い住宅団地を優先整備する考えは。

答 多様なニーズに応じた市営住宅の政策を推進していく。

組合議会報告

山梨西部広域環境組合議会

第1回定例会

3月30日に開催され、承認2件、条例1件、予算2件、契約1件について審議し、原案のとおり可決・承認されました。

承認

▼専決処分（職員給与と条例中改正）

▼専決処分（令和7年度一般会計補正予算（第2号））

条例

▼職員等の旅費に関する条例中改正

予算

▼令和7年度一般会計補正予算（第3号）

▼令和8年度一般会計予算

契約

▼ごみ処理施設整備・運営事業建設工事

後期高齢者医療広域連合議会

第1回定例会

2月19日に開催され、条例2件、予算4件、その

他1件について審議し、原案のとおり可決されました。

条例

▼後期高齢者医療に関する条例の一部改正

▼会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

補正予算

▼一般会計（第2号）

▼特別会計（第2号）

▼8年度当初予算

一般会計

▼特別会計

▼その他

▼第5次広域計画の策定

峡北広域行政事務組合議会

第1回定例会

2月20日に開催され、条例等13件について審議し、原案のとおり可決、同意されました。

条例

▼職員給与と条例の一部改正

▼尿処理施設の設置及び管理に関する条例の廃止

補正予算

▼火災予防条例の一部改正

▼一般会計（第2号）

▼常備消防特別会計（第2号）

▼ごみ処理特別会計（第2号）

▼尿処理特別会計（第2号）

▼8年度当初予算

一般会計

▼常備消防特別会計

▼ごみ処理特別会計

▼尿処理特別会計

同意

▼公平委員の選任（2件）

加藤 進（韮崎市）

坂本正輝（北杜市）

峡北地域広域水道企業団議会

第1回定例会

3月11日に開催され、議長選挙の後、予算2件について審議し、原案のとおり可決されました。

選挙

議長

功刀正広（韮崎市）

補正予算

▼水道用水供給事業会計（第1号）

▼8年度当初予算

▼水道用水供給事業会計

代表質問

Question

北杜市の地方創生は

Answer

第3期推進計画を策定



公明党

うちだ

とひ俊彦



「水道スマートメーター導入」など3事業、地域防災緊急整備型として「移動式循環型水洗トイレの整備」の計7事業を展開している。

国の地域未来戦略に対応できるように「地場産業成長プラン」を策定し、交付金を活用したい。

問 企業版ふるさと納税の活用は。

答 第3期計画では、4つの基本目標に向け施策を推進し、5年後の数値目標を達成するため、企業版ふるさと納税を確保したい。令和7年度、「農業強化プロジェクト」に対し多額のご寄付をいただいた。特産品開発や農業機械リース事業、低農薬農業講習会の実施など、地域の活性化につながっている。

問 ふるさと住民登録制度への参加予定は。

答 令和9年度からの導入を目指す。制度参加による財政支援・登録内容・登録者特典の検討は。

問 令和9年度までに開始した自治体には、国がシステム運用経費を負担する。登録要件のないベーシック登録と、担い手活動を要件とするプレミアム登録があり、プレミアム登録には宿泊・交通費補助や返礼品などを考えている。

問 国の制度設計の情報収集は。

答 市としては「第4次総合戦略」の推進を軸としながら、国・県の施策動

向を積極的に収集し、必要な措置を迅速かつ柔軟に講じる。

問 国土強靭化計画は

答 リスクシナリオを設定

問 北杜市地域強靭化計画の概要は。

答 大災害時にも、人命保護、被害最小化、迅速な復旧復興を目指す。計画期間は令和7年度から令和11年度までの5年間。地震・風水害を対象とした27項目のリスクシナリオを設け、リスク回避するために、個別施策8分野と横断的6分野を設定している。

問 地方創生・総合計画・まちづくり計画との連携は。

答 総合計画で掲げた将来像の実現に向け、整合・連携を図りながら推進する。

問 令和8年度事業は。今後の重点事業の展開は。

答 下水道施設の耐震化・長寿命対策、再生可能エネルギー設備および蓄電池の導入促進、道路ネットワークの確保など、21事業を当初予算に計上し、本定例会には、防災無線の機能向上経費予算を計上している。今後は、ハザードマップ活用、災害派遣トイレネットワークとの連携などの11事業を推進する。

問 各種交付金の獲得への影響は。合併処理浄化槽への転換促進など、6事業に交付金を最大限に活用している。

問 RSウイルス感染症対策は

答 国・県と連携し対応

問 妊婦へのRSウイルス感染症予防対策、啓蒙活動の実施は。

答 母子健康手帳の所持者には、お知らせや予診票などを送付し、新たに手帳を交付する方には予防接種の内容を説明し、予診票を渡している。

問 高齢者への予防ワクチン接種の取り組みは。

答 インフルエンザや肺炎球菌ワクチンなどと合わせて周知する。接種費用の補助は、国・県の動向を注視して研究したい。



ワクチンで母子の健康を守る

代表質問

代表質問

Question

中学校統合は

Answer

一定規模の学校が必要



日本共産党

しみず
清水

すすむ
進



問 社会性やコミュニケーション経験は、大集団より、むしろ少人数の中で育まれるのでは。

答 複数のコミュニティが形成できることにより、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することとで生徒が社会性を身に付けることが重要であると捉えている。

問 「適正規模」の教育的根拠は。

答 専門教科の教員が十分に配置可能な、学年3から4学級程度を適正規模と考えている。

問 建設予定の旧峡北高校跡地の近くには、太陽光発電パネルがあり健康被害や撤去による違約金が増える。産業廃棄物施設もある。最適な環境と言えるのか。

答 太陽光施設については承知していない。企業の事業活動に予断を持つての答弁はできない。

問 イラン情勢に対応した支援は

答 さまざまな対策を展開中

問 実態調査と相談窓口の設置は。

答 商工会などの関係機関への聞き取り、国・県からの情報収集と状況把握に努めている。関係各課が随時相談を受け付けている。

問 市独自策として、中小事業者への融資条件緩和や返済猶予は。また、

困難な事業者への住民税、固定資産税、国保税の支払い猶予は。子育て世帯などへの具体的な支援は。

答 商品券事業、農業者への給付金給付事業、保育料の完全無料化、介護・障害福祉事業所や医療機関に対する支援金支給事業、子どもサポート給付金事業などの物価高騰対策を実施している。

問 アメリカ、イスラエルによるイラン攻撃中止を求めるよう政府に要請する考えは。

答 状況を注視する。

問 夏休み中、昼食提供は

答 7月から1万円を支給

問 夏休み期間中、放課後児童クラブでお弁当を提供し、費用の一部を補助する考えは。

答 小学校から高校生のいる世帯を対象に、1人当たり1万円を7月から支給する。



小中高生夏休み食事代支援

一般質問



しむら 清志
志村 清



問 発足した中学校統合準備検討委員会は

答 専門部会開催し対応

問 新設2校の選定場所は議論されたのか。

答 委員からの質疑を受け、2カ所をおはかりし異議なく承認。準備検討委員会の位置づけ、議論の進め方、最終報告めどは。

答 専門部会を順次開催。最終報告は今後の進捗による。議会には適時適切に報告する。

問 医療団体調査「手遅れ死亡事故事例の発表」を受けて

答 経済的要因の把握はなし

問 手遅れ事例の調査、把握は。経済的要因での事例調査、把握は行っていない。

問 塩川・甲陽病院の外来患者呼び出し方法改善は。

答 希望される方への番号呼び出しも対応。適切に支援する。

代表質問

Question

新庁舎の防災拠点像は

Answer

市民の生命・財産を
守る司令塔

北杜オール・イン・ワン

やまざき

山崎

きみえ

君江



問 大規模災害時の司令塔としての新庁舎は。

答 災害対策本部を設置。被害状況の収集、避難所設置などの必要な情報発信、緊急支援物資の受け入れ、「り災証明」や「各種証明書」発行、被災箇所の復旧・復興作業など、市民の生命・財産を守るための拠点施設。

問 防災機能を持たせた本庁舎の設備とは。

答 本庁舎には、耐震性能や耐浸水性能はもちろんのこと、市民、来庁者、職員の安全確保、非常用電源の確保、



旧須玉商業高校とプレハブ工法で増築した本庁舎

防災行政無線などの防災システムの運用、水道水の供給、資機材などの備蓄、行政情報や個人情報データのバックアップ機能などが求められる。

問 財源を心配する市民の声がある。庁舎建設の総額は。

答 建物本体の建築費は、事前検討資料作成時（令和6年3月）から約17%増加している。総額は本庁舎の規模や必要な機能が決定した後に積算する。

問 周辺道路整備や用地買収費、既存施設の解体費は。

答 本庁舎整備費に含まれている。

問 中学校2校と本庁舎建設の議論が同時進行で進められているが、中学校建設の議論にめぐりながら、庁舎建設の議論をするべきでは。

答 建設時期は、他の公共事業などを勘案し、適切に判断する。

問 世代に応じた情報伝達は

答 きめ細かく対応したい

問 スマートフォン操作が困難な方や、インターネット環境がない市民の現状を把握しているのか。

答 総務省の令和7年通信利用動向調査において、山梨県のインターネット利用率は84.1%。本市でも、おおむね2割程度が未利用と推測している。「北杜市DX推進計画」策定のため、アンケート調査を実施している。結果を踏まえネット利用の現状を把握する。

長坂コミュニティ・ステーション内での「スマートフォン・パソコンよろず相談所」の利用を促進。また、はつらつシルバーなど高齢者の集う場所でのスマホ教室の開催など本市に合った支援策を検討。

問 子どもたちへの連絡がモバイル端末になつてから、イベントへの参加が少なくなったという声が届いているが。

答 WEBを活用したチラシ配布を導入。必要な情報は届いている。

問 市公式LINE登録数を増やす取り組みは。

答 7月には都内で開催される「ふるさと納税・移住定住イベント」でもPRする予定。

一般質問



なかやま よしお
中山 喜夫



問 公表の中学統合場所での活動の北杜ボーイズへの説明理解は

答 公表後に説明、場所の確保へ

問 代替提案も考慮に納得伴う確保を強く望む。検討状況は。

答 活動・貢献度から引き続き、できる限りの対応をしていく。

問 韮崎⇄武川白州のバス接続は

答 韮崎市と協議を重ね新たな公共バス網の実現に取り組み

問 早期接続と併せ両市双方の往来活性化に向けた工夫策は。

答 相互にメリットのある広域連携の実現に向け協議していく。

問 風通し良い職場環境の改善は

答 働きやすい環境を整備する

問 職員不祥事原因と分析は。

答 法令遵守意識と会話希薄化職員一人ひとりのケアと把握、問題未然防止や早期発見策

答 は。さらなる相談体制の拡充を検討する。

一般質問



飛矢崎 雅也



問 児童の安全確保と
学校運営の在り方は

答 総合的・適切な運用が必要

問 スクールバス運行などにより、
教職員勤務時間前に登校する児童
がいる現状への認識は。

答 教職員の勤務時間にも配慮し
ており、課題との認識はない。

問 児童の安全確保を制度として
担保すべきことへの認識は。

答 学校の安全管理下に属してお
り、適切に取り扱われている。

問 登校時安全確保の運用に統一
的基準がないことへの認識は。

答 統一的な基準設置は難しい。
制度設計の望ましい姿勢は。

問 児童の安全確保と教職員の勤
務体系に十分配慮し、総合的に適
切な運用を図る必要がある。

問 明野町浅尾地区盛土問題は

答 災害の未然防止に努める

問 熱海土石流災害の教訓をどう

認識し、浅尾地区の盛土問題にど
う反映するのか。

答 行政対応の在り方を検証し、
今後の施策や対応に生かすべき重
要な提言と認識している。

問 地域の歴史的経緯、過去の不
適正処理、住民の反対意思をどう
位置付けるのか。

答 要望は重要なものとして受け
止めるが、行政判断の要素として
位置付けることは難しい。

問 最悪事態想定と行政責任は。
答 最悪の事態は土石流や斜面崩
壊の発生。指導、監視、情報提供を
適切に行い、災害の未然防止に努め
る。

問 住民の安全に対する不安が示
された場合の判断基準は。

答 関係機関と連携して危険性を
確認し、予防的対応を講じ、市民の
安全を最優

先に判断する。
問 行政判
断の原則は。

答 関係法
令や専門的
知見、客観的
事実を総合
的に勘案し、
適切に判断
する。



明野町浅尾地区の盛土現場周辺

一般質問



浅川 勝正



問 中部横断自動車道と
市道の今後は

答 早期事業化に向け取り組む

道路は移動手段だけでなく、市
民生活を支え地域経済を発展させ、
災害時には命を守る重要な社会基
盤。

問 中部横断自動車道の現在の進
捗状況と、今後の取り組みは。

答 4回の審議を経て知事意見が
取りまとめられ、評価書の作成へ
移行する予定。早期事業化に向け、
先頭に立って取り組む。

問 新規事業の主要市道環境美
化促進事業の進め方は。

答 安全で快適な通行環境の確保
と観光振興に資するまちづくり
に取り組む。

問 小淵沢振興ビジョンとその後

答 アイデア盛り込み策定

問 それぞれの地域特性を踏まえ
た振興ビジョンの作成は。

答 学識者や民間企業、各種団体、
行政、地元住民などの事業アイデア
を盛り込み策定された。

問 小淵沢振興ビジョン推進で得
られる成果やノウハウで他地域の
活性化も展開する考えは。

答 他地域へも波及させる考え。

問 原っぱ教育と地域資源
生かした学びは

答 支援を継続していく

問 市が有する馬文化やスキー・ス
ケートなど、特色ある資源の活用
や、推進する考えは。

答 子どもたちの郷土への誇りを
醸成し、力強く推進していく。

問 スキー教室の実施状況と課題
の把握、地域資源生かした教育活
動継続のため、市の支援は。

答 長坂小以外の8校で実施。イ

ンストラ
クターへ
の謝金や
移動に係
る費用を
公費で負
担、現行
の支援を
継続する。



原っぱ教育の現状とこれから

一般質問



なかむら のりこ
中村 典子



問 教員の休憩時間は

答 労働基準法にのっとっている

問 教員の勤務実態の把握は。

答 校務支援システムで記録、学校から教育委員会に報告。

問 教員への法定の45分ないし1時間の休憩時間付与は。

答 関係法令に基づき勤務時間の中に位置づけ、昼食時間を含む時間帯に設定。

問 休憩時間は労働から完全に解放されたものとなっているか。

答 労働基準法の趣旨にのっとったものと捉えている。

問 中学校の校則の見直しは

答 生徒の意見を聴取し
学校長が判断

問 校則のホームページ公開について検討状況は。

答 校長会での話し合いは行われていない。

問 制服や頭髪について本人が

選択できる仕組みは。

答 各学校が個別事情を考慮し、教育委員会と協議し判断。

問 体育着の綿素材など認め、快適な学校生活につなげては。

答 選定や運用は各学校で検討。部活動への全員参加について教育委員会の考えは。

答 各学校で判断される。

問 文部科学省からの校則見直し通知について各校への周知は。

答 校長会で周知している。



なぜその校則があるか説明できますか？

問 中部横断自動車道について
市民の合意形成は図られたか

答 ワークショップなど通じ
一定の理解と合意が得られた

問 高根IC設置要望は、どのような経緯や手続きを経たか。

答 平成25年に清里地区付近を含む複数箇所への設置を要望。

中部横断自動車道活用検討委員会「まちづくりビジョン道路プラン」を策定。

議会のうごき

- 5月** 12日 議会運営委員会
25日 全員協議会、統合中学校にかかる特別委員会
- 6月** 3日 議会運営委員会、全員協議会
9日 定例会本会議（開会）、広報編集委員会
11日 議会運営委員会
16日 総務常任委員会
17日 文教厚生常任委員会
18日 経済環境常任委員会、統合中学校にかかる特別委員会（協議会）
19日 全員協議会
23日 定例会本会議（代表質問）
24日 定例会本会議（一般質問）
25日 定例会本会議（議案審議、閉会）、正副議長・正副議会運営委員長会議、議会運営委員会

- 7月** 8日・14日・21日 広報編集委員会
13日 中北・峡南地区議会議長会
21日 統合中学校にかかる特別委員会
22日 峡北広域行政事務組合議会全員協議会
第1回臨時会

★行政視察受け入れ3件
（長野県原村、栃木県那須町、千葉県木更津市）

表彰

第102回全国市議会議長会定期総会で、次のとおり表彰されました。

議員20年以上 保坂 多枝子



登山の安全を願って(観音平)

声のひろば

持続可能な北杜へ



なとり しょうた
名取 正太

雄大な自然に囲まれた北杜市。この土地で生まれ育ち、私の育った学び舎で私の子ども達も育っています。

現在の学校環境は私の環境とは全く異なる現代の変化が起きています。遊具の減少、1人1台の端末、配布物の電子化などありますが、何より子どもの数といます。

義務教育である小・中学校。特に中学校は統廃合の議論が進んでいます。メリット・デメリット多くの課題があると思います。北杜へ移住した親世代が中学校へ通わすのに負担と感じれば子育て世代の移住に関わり、同時に子どもの減少に拍車がかかる。将来、北杜へ戻ってきたくなる北杜。大事な人財の未来を見据え、まちづくりとして検討していただきたいと思います。

北杜市の素晴らしさ



つちや まさのり
土屋 昌則

2026年1月2日、日本テレビで放映された「はじめのおつかい新春SP」で、日本全国に北杜市の「蕪の桜」がPRされました。テレビの影響は素晴らしく、撮影地である長坂町清春には、例年になくたくさんの方に来ていただきました。その上、台湾のテレビで7月から放送されるので、次は世界にPRです。

子どもの純粋な行動が人の心を動かし感動を与える。撮影に桜守として参加出来た喜びを胸に、子どもたちの成長をこれからも桜と共に見守っていききたい。交通安全誘導をしても「ありがとうございませう」と頭を下げてお礼をしてくれる子どもたち。純粋な心を忘れずに成長して欲しいと願っています。

安心して暮らせるまちづくりを



いた ばし かず
板橋 和

私は3年前に北杜市の豊かな自然や美しい景観、人の温かさに魅了されて移住してきました。しかし、実際に暮らしてみると、猿などの野生動物による被害の深刻さに驚かされました。農作物が荒らされるだけでなく、住宅の敷地内に侵入して庭を荒らしたり、玄関先で猿に遭遇し威嚇されたと話を耳にしたりするなど、身近な暮らしへの影響も感じています。

住民が安心して暮らし、農業を続けていくためにも、より実効性のある対策を期待しています。また、子どもたちが気軽に自転車で行ける距離に公園や遊び場が少ないことも気になっています。北杜市の豊かな自然を守りながら、誰もが安心して暮らし続けられるまちづくりが進むことを願っています。

子どもたちのための柔軟な市政



ふる だて ふたば
古館 双葉

小学校教諭の傍ら、「森の楽童」という北杜の豊かな自然を生かした活動を、地域の親主体で運営しています。

長い間、北杜市で中学校統合が議論され、市は統合のメリットとして、クラス替えができるようになることで不登校を減らせるのでは、ということをお話されていました。

私が、学校に気持ちのならない子どもたちやその保護者と関わり、向き合う中で日々感じるのは、「学校に安心できる存在や、安心できる場所が必要」ということです。子どもたちが求める「安心」は一人一人違い、それを探る為に深く関わる必要があります。統合により人数が増え、個別にサポートを必要とする子どもたちの訴えが埋もれてしまわないでほしいと私は願います。

総合防災訓練 北杜市ウォッチング

HOKUTOSHI WATCHING

7月5日(日) 明野地区

地域の方と関係機関が参加した、災害時の初動対応などを確認する総合防災訓練が行われました。6月には山梨県を震源地とする地震が発生し、改めて日頃の備えの大事さを実感しました。もしもの時に備えて、皆さまももう一度、身の回りのご確認をお願いします。



第3回定例会(9月)の予定

日	月	火	水	木	金	土
8/30	31 	9/1 本会議 (開会)	2 予備日	3 	4 予備日	5
6	7 決算 特別委員会	8 決算 特別委員会	9 決算 特別委員会	10 決算 特別委員会	11 	12
13	14 予備日	15 総務 常任委員会	16 文教厚生 常任委員会	17 経済環境 常任委員会	18 予備日	19
20	21 敬老の日	22 国民の休日	23 秋分の日	24 本会議 (代表質問)	25 本会議 (一般質問)	26
27	28 本会議 (閉会)	29 	30	10/1 	2	3

※日程を変更する場合がありますので市ホームページでご確認ください。

※傍聴はどなたでもできます。本会議および特別委員会は議場に、常任委員会は全員協議会室(本庁西館2階)にお越しください。

※令和8年第3回定例会(9月)審査分の請願・要望などの提出期限は8月24日を予定しています。

次回の定例会は
9月に開催する
予定です。



議会広報編集委員会

委員長	秋山 真一	
副委員長	山崎 君江	内田 俊彦
委員	興石 知宏	飛矢崎雅也
	高見澤伸光	中山 喜夫
	神田 正人	志村 清

明野のひまわりが咲き誇り、八ヶ岳からの爽やかな風が心地よい季節ですが、日差しには力強い夏を感じます。北杜の豊かな自然が最も輝く季節を迎えました。今号でも、第2回定例会での活発な議論や議決されたことを分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。

市民の皆さまの暮らしを守る大切な予算や政策について、熱心に議論された様子が伝われば幸いです。

夏の太陽に負けない熱意を持って、市民の皆さまの声を市政に届けるべく、今後も読みやすい誌面づくりに努めてまいります。

編集後記